



1906 フォード社 モデルN ラナバウト



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	未知の
総生産量	8,828 (完成車)
馬力	15
重量	1,050ポンド/ 476キログラム
当時売価	\$500 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

エンジン正面に取り付けられた鋳鉄フライホイール
フォード社初めて量産技術を採用
モデルNはヘンリーフォードの理想を実現！
工場での一日当たりの生産台数が100台達成

1906年 自動車販売数NO.1!

フォード社モデルKの生産はヘンリーフォードの投資者達の要望でヘンリーが作った車です。モデルKは、2,500ドル～2,800ドルの価格を誇る巨大で強い車で、ヘンリー・フォードの「大衆向けで手ごろな価格」というビジョンとはかけ離れています。そしてほぼ同時期に、モデルNの製造も始まりました。モデルNはモデルKとは異なり、小さくて軽く、機敏で初めの価格はなんと500ドルでした。しかし価格はすぐに600ドルに上がりましたが、それでも当時のオールズモビル社の1気筒10馬力のオールズモビルラナバウトよりも50ドルも安い価格でした。モデルNは、40 mphに車を押し込むことができるフロントマウント、4気筒、15-18馬力のエンジンが誇りでした。それは当時信じられないくらい価値のあることでした。遂に、フォード社は中流階級のニーズにあった車を作ったのです！そしてしばらくしてから、モデルNはモデルRとSを生み出し、フォード社を世界NO.1セールスに導いたのです！